



R2. 4. 24 第1号

時をつくる！

校長 山下 昌永

新緑の季節を迎え、校内の木々も青々とした葉を茂らせています。日頃より、本校の教育活動へのご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。

今年度は新たに154名の1年生を迎え、2年生は161名、3年生は141名、総生徒数456名で1学期がスタートしました。また、異動や退任をした教職員に替わり、今年度は新たに15名の教職員が加わりました。今年度もすべての教職員が生徒の成長を第一に力を合わせ、保護者・地域の皆様とともに「チーム西本郷」として教育活動を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、学校は一斉臨時休業が続いています。生徒はもちろん保護者や地域の皆様にも学校再開がどのようになるのか、ご心配をおかけしているところです。

4月7日に実施した始業式では、マラソンの大迫傑選手の話をしました。大迫選手は昨年の代表選考会で3位となり、その後誰かが日本新記録を更新しない限り代表は内定されるという状況でしたが、3月1日の東京マラソンで自身が持つ日本記録を塗り替えてオリンピック代表の座を射止めました。大迫傑選手の話を通して目の前の課題に対して、「時を待つ」のではなく、「時をつくる」ということを生徒に伝えました。不要不急の外出が制限される中、ストレスが溜まっている人も多いかと思いますが、「時をつくる」という思いで、今自分にできることを実践できるように心がけていきたいと思っています。

ご入学おめでとうございます!!
第41回 入学式

4月6日(月)、入学式。例年よりも開花が早かった桜が、新入生のみなさんを歓迎するかのように咲き誇っていました。新しい制服に身を包み、大きな希望を胸に中学校の門をくぐる新入生のみなさんはキラキラしていました。入学式前は新クラスの名簿から自分や友達の名前を探したり、久々に会う仲間とお話したり、笑顔が溢れる時間が流れていました。

そして、いよいよ入学式。今年は新型コロナウイルスの影響で、多くの新入生がマスクを着用し、体育館入場前に手を洗い、体育館内はすべて窓を開け、また、座席も隣との間隔を大きくするなど万全な態勢で入学式を執り行いました。式の途中では、新入生を代表して中村元さんが、これから始まる中学校生活に対する気持ちを「誓いの言葉」として堂々と述べていた姿がとても印象的でした。

入学式の後には、教室に入り初めての学活。一年間、生活を共にする仲間、そして、担任の先生と顔を合わせました。

一日を通して、制限がかけられたり、簡素化されたりする場面が多かったのですが、無事に入学式ができたことをうれしく思います。まだまだ油断ができない状況ですが、新しい人間関係を大切に、楽しい中学校生活を送っていきましょう。

新入生代表の言葉

春の優しい風と空に舞う桜につつまれながら、ぼくたちは、今日この西本郷中学校に入学しました。新しい制服はブカブカで、着なれていないので、はずかしい気持ちもありますが、これまでとは違う毎日が来ると思うととてもワクワクします。

本日は、このような素晴らしい入学式を行っていただき大変感謝しております。ぼくたちは、小学校を卒業し、今日からは中学生になります。小学校とは違って部活があったり、勉強は難しくなったり、たくさんの行事が増えて忙しくなりそうな気もしますが、その反面、希望と期待に胸がおどります。

ぼくの目標は周りの人に頼られる中学生になる事です。そのためには周りの人の言葉を良く聞き、たくさん周りに目を配り、先生や先輩方を模範に行動する事が必要だと思います。とても難しい事だと思いますが、理想の中学生になれるようにがんばりたいと思います。それでもうまく出来ない時は、先生方、先輩方、保護者の皆様方、力をお貸しください。三年後、ぼくたちが卒業する時、最高の中学校生活だったここに居るみんなが思えるような悔いの無い三年間を送りたいです。

最後になりますが、先生方そして先輩方、温かいご指導をよろしく願います。ぼくたちは西本郷中学校の生徒として、ほこりもち、笑って卒業できるようにがんばっていきます。

令和二年四月六日

新入生代表 中村 元

PTA 会長の祝辞

今日から中学生になり、かけがえのない三年間がはじまります。どうぞ一日一日を大切に、充実した学校生活を過ごしてください。

「あれがしたい」「これがしたい」と、色々なことにチャレンジしたい！と目標を立てている人、また、中学生になり、それと共に「心機一転」と自分を変える新スタートのタイミングと思っている人も多いのではないのでしょうか。気持ちをあらたに前向きな姿勢は大切なことです。けれど、小学校六年間で学んできたことは、今まで通り、変わることなく、この西本郷中学校で思い切り発揮をしてください。例えば、元気にあいさつをすること、人に感謝をすること、人を理解し思いやる気持ちを持つということなど、自分が身につけた大切な宝物です。きっと役に立つはずです。

毎日が充実すると同時に忙しい日々になります。お休みの日は、しっかり心と体を休め、そして充電いっぱいにして翌日また元気な姿をみせて欲しいです。挑戦はするけれど、無茶はせず、体を休めるのも大切です。自分らしい中学校生活のリズムを身につけていきましょう。

保護者の皆さま、お子さまのご入学、心よりお祝い申し上げます。

私たち PTA は、学校・地域と連携しながら、保護者の皆さまと力を合わせ、子どもたちを見守り、より良い学校生活が送れるよう、縁の下の力持ちになっていきたいと思っております。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大で、私たちは落ち着くことのできない日々を過ごしている状態です。今は安全を第一に考え、無事に混乱が収まることをただ祈り、このような時こそ一つのチームとなり、乗り越えていけたらと思っております。

皆さんのこれからの活躍を祈って、保護者代表のあいさつとさせていただきます。

令和二年四月六日

PTA会長 田村 郁子

在校生代表の言葉

温かな日差しが満ちあふれ春風が心地よく感じられるようになったこのよき日、この西本郷中学校に入学する新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。私達上級生は皆さんが入学してくるのを今か今かと待っていました。皆さんは今日から中学生です。新しい制服に袖を通し、今までとは全く違った日々が待っています。皆さんは期待と不安にドキドキしていることでしょう。

私も入学した頃は、今の皆さんと同じような気持ちでした。勉強は大丈夫だろうか、部活動はどうだろうかと不安でいっぱいでした。ですが、中学校生活を続けていくうちにそのような気持ちはなくなり毎日中学校に行くのが楽しくなりました。私の場合は楽しくなった理由の一つは部活動にありました。

部活動では同じ志をもつ仲間と共に練習を乗り越え、喜びや悔しさを共有し、お互いの信頼を深められます。また同級生だけでなく、先輩や後輩ができます。憧れの先輩を目指して練習したり後輩を引っ張っていくために努力をしたりすることは部活動ならではのものです。それはきっと皆さんにとって貴重なそして大切な経験となると思います。ぜひ自分に合う部活動に入り充実した三年間を過ごしてください。

委員会活動ではそれぞれの活動の目標があり、今ある学校をさらに良くするために日々活動しています。小学校の時も委員会があったとは思いますが中学校になると、先輩と一緒に活動することがより増えてきます。私は始め緊張して自分から話すことができませんでした。けれども先輩方がいろいろなことを優しく教えて下さいました。先輩方のそのような優しさのおかげで、私は委員会活動を充実させることができ、やっと委員になれた実感が持てました。今度は私たちがその優しさを引き継げるようにがんばりますので、分からないことがあったらたくさん質問してください。

また授業では教科ごとに教えてくれる先生が変わります。先生一人ひとりが優しく分かりやすく教えてくれるのでテストにも安心して取り組みます。しかし、予習・復習するのはあくまで自分だということは忘れないでください。

最後に私が伝えたいことはこれからの中学校生活を全力で楽しんでほしいということです。三年間は長いようであつという間に過ぎていきます。これをしとけば良かったなどと後悔のないようにやることから次々にしていきましょう。また、違う学校だった人とは初めは話しにくいのは誰だってそうです。ですが、学校行事である体育祭や楠笑祭でクラスで団結し合うので大きな行事を通して仲間との絆を深めていってください。そうしてクラスの仲間と共に様々な瞬間を共有し感動を分かち合いきましょう。中学校とは新しい時の始まりであり大きな壁でもあります。時にはつらくて悩んでしまうこともあるかもしれませんが、そんな時にそばにいる周りの友達や先輩、先生たちに相談するのもいいかもしれません。きっと解決のカギが見つかると思います。私たちも全力で協力します。そうして一步一步壁を共にみんなで乗り越えましょう。それは必ずみんなの一人ひとりの自信になります。最近コロナウイルスの広がりによって、社会も学校も、これからどうなっていくのだろうという不安を持っている人もいるかもしれませんが、その時その時の自分にできることを考え、一緒にがんばっていきましょう。御入学おめでとうございます。

令和二年四月六日

在校生代表 生徒会会長 園田 遥己



今年度着任職員

副校長	清水 智之 (しみず ともゆき)	横浜市立浜中学校より
主幹教諭	佐久間 直美 (さくま なおみ)	横浜市立日野南中学校より
教諭	佐々木 剛 (ささき つよし)	横浜市立岡津中学校より
教諭	高木 悠子 (たかぎ ゆうこ)	横浜市立岩崎中学校より
教諭	江川 徹 (えがわ とおる)	横浜市立舞岡中学校より
教諭	村本 淳一 (むらもと じゅんいち)	横浜市立日野南中学校より
教諭	山木 知明 (やまき ともあき)	横浜市立南戸塚中学校より
教諭	吉田 安澄 (よしだ あずみ)	新採用
教諭	伊藤 彩 (いとう あや)	新採用
教諭	府川 孝 (ふかわ たかし)	横浜市立大正中学校より
教諭	増田 豊 (ますだ ゆたか)	横浜市立山内中学校より
教諭	上杉 相鳳 (うえすぎ さんはん)	横浜市立生麦中学校より
学校司書	高橋 今日子 (たかはし きょうこ)	横浜市立寛政中学校より
技能職員	井上 喜一 (いのうえ きいち)	横浜市港北土木事務所より
A E T	Vanessa Krause (ヴァネッサ クラウザー)	横浜市立上郷中学校より

今年度離任職員

副校長	武田 剛史郎 (たけだ ごうしろう)	横浜市立根岸中学校へ
主幹教諭	海部 祐喜子 (かいふ ゆきこ)	横浜市教育委員会事務所へ
主幹教諭	増田 睦 (ますだ むつみ)	横浜市立平楽中学校へ
教諭	山田 瞬 (やまだ しゅん)	横浜市立境木中学校へ
教諭	井上 麻美 (いのうえ あさみ)	横浜市立都岡中学校へ
教諭	入江 直樹 (いりえ なおき)	ご退職
教諭	清野 きぬ (せいの きぬ)	ご退職
教諭	鈴木 美代 (すずき みよ)	横浜市立丸山台中学校へ
A E T	Kimberley Campbell (キンバリー キャンベル)	ご退職
技能職員	小田 規親 (おだ のりちか)	ご退職
学校司書	藏埜 明子 (くらの あきこ)	横浜市立本郷台小学校へ

相談窓口のご案内 ～お気軽にご相談ください～

☆校内セクハラ相談

一人で悩むことのないように、相談してください。

《相談窓口：養護教諭 千田 規子 副校長 清水 智之》



※教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口としてご利用いただけます。

《 ☎ 045-671-3276 》 月～金 9:00～17:00 (年末年始を除く平日)

☆特別支援教育相談

お子様の成長や発達で気になることやお悩みのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

《相談窓口：養護教諭 千田 規子 教諭 小山 晴美》

☆相談室

学校のこと・家庭のこと・友達のことなどなんでも相談にのります。

保護者の方もご遠慮なくご相談ください。

《 相談窓口 学校カウンセラー 村上 博 直通電話 892-1996 》